

平成 27 年度市民モニターアンケート（第 3 回）集計結果

○【テーマ】「地域公共交通」について

調査の目的

えびの市では、平成 26 年度に「地域公共交通網形成計画」を策定し、地域公共交通の確保・維持に取り組んできた。しかし、地域公共交通の利用者は年々減少しており、確保・維持が厳しい状況となっている。

今後の地域公共交通の確保・維持の取り組みへの参考とするため、地域公共交通の利用状況、認知度等についてアンケートを実施した。

調査の概要

- | | | | |
|-----|-------|------------------|-------------------|
| (1) | 調査期間 | 平成 28 年 1 月 21 日 | ～平成 28 年 2 月 12 日 |
| | | | ※終了後も一定期間回収 |
| (2) | モニター数 | 39 人 | |
| (3) | 回答者数 | 29 人 | (回答率 74%) |
| (4) | 担当課 | 企画課 | |

調査結果考察

【問 2】

回答者の中で、4 割の方が利用したと回答している。

【問 3】

利用された地域公共交通で、JR を利用した方が一番多く、タクシー、路線バスの順となっており、路線バスの利用が少ない。

利用頻度は、年単位、月単位の利用の回答が多く、日常的に利用されているようではない。利用目的は、通院、通学、娯楽が多い。

【問 4】

利用しなかった理由として、自らが移動手段を持っているためということがうかがえる。

【問 5】

地域公共交通が厳しい状況にあることの認識度は高いと考えられる。

【問 6】

回答者のほとんどが、地域公共交通は必要であると考えている。

【問 7】

路線バスが走っていることは認識しているが、具体的に利用するときに必要な時刻表、行き先、運賃の認知度が低い。

【問 8】

路線バスと同様に、具体的に利用するときに必要な時刻表、運賃の認知度が低い。

【問 9】

市内にタクシー会社が3社あることや、初乗り料金が580円であることへの認知度が低い。

【問 10】

タクシー利用料金助成事業については、約5割の方が知らなかったと回答している。

【問 11】

高速バスは約5割の方が利用している。

【問 12】

利用目的は、娯楽・買物が多い。

【問 13】

地域公共交通が必要であることは、共通の認識であると考えられる。その中で、路線バスの充実や、コミュニティバスの運行、タクシー利用料金助成事業の充実に関する意見が見られた。

調査結果まとめ

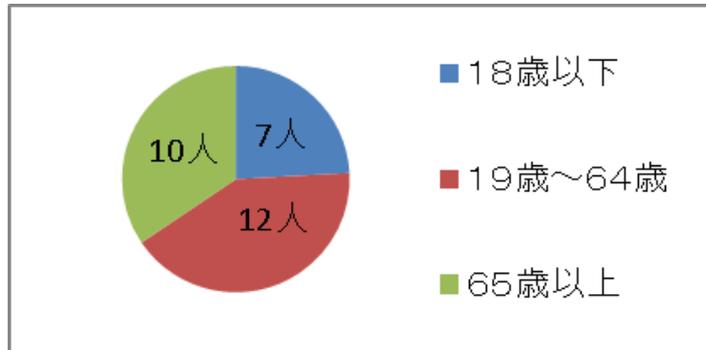
公共交通が必要であるとの認識はあるが、利用に関しては、関心が低いように思われる。関心が低い原因として、公共交通に関する情報の提供が不足していることが考えられる。今後は、公共交通に関する情報を、広報紙に掲載したり、パンフレットを作成するなどして、公共交通の情報の周知を図っていくことが必要である。

◆◆◆ 調査結果 ◆◆◆

1. 年齢区分についておたずねします。

問1 あなたの年齢区分にあてはまるものを1つ選んでください。

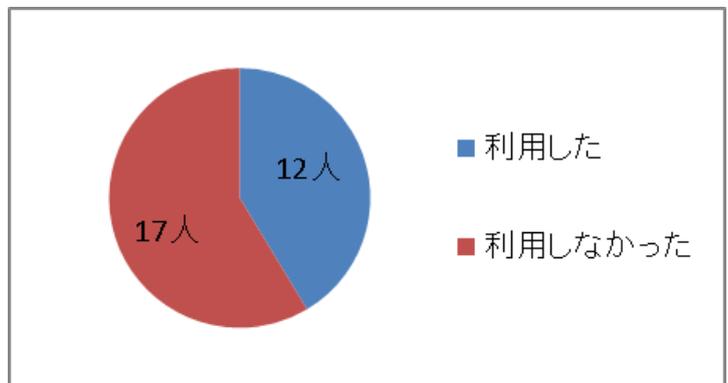
選択肢	回答数
① 18歳以下	7
② 19歳～64歳	12
③ 65歳以上	10
計	29



2. 【地域公共交通】の利用状況についておたずねします。

問2 あなたは昨年（H27.1.1～H27.12.31）の1年間に【地域公共交通】を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
① 利用した	12
② 利用しなかった	17
計	29



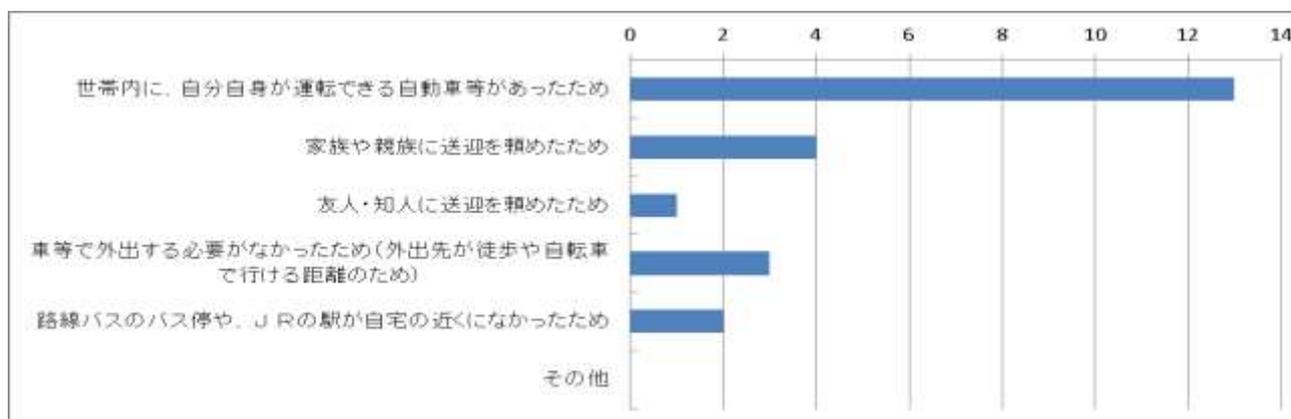
問3 昨年【地域公共交通】を利用した方にお聞きします。
 利用した【地域公共交通】・頻度・主な目的について、ご記入ください。

公共交通	【路線バス】	【JR】	【タクシー】
利用人数	2人	8人	6人
利用の頻度	月 1回 1人 年 1回 1人	月 2回 1人 年 5回 2人 年 3回 1人 年 2回 2人 年 1回 2人	月 13回 1人 月 2回 1人 月 1回 1人 年 3回 1人 年 2回 1人 年 1回 1人
利用の目的	通学 1人 その他 1人	娯楽 3人 通院 2人 通学 1人 買物 1人 通塾 1人	娯楽 4人 通勤 1人 通院 1人 その他 1人

問4 昨年、【地域公共交通】を利用しなかった方にお聞きします。利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答有)

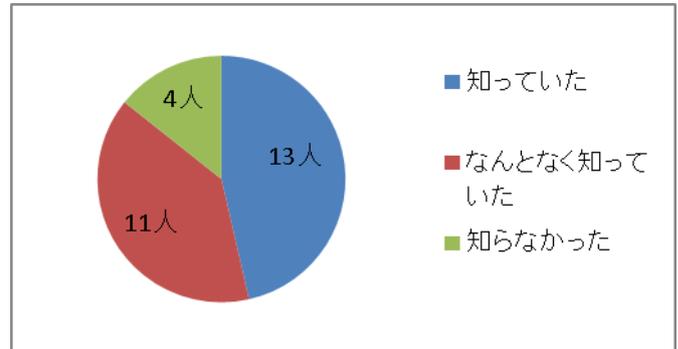
選択肢	回答数
① 世帯内に、自分自身が運転できる自動車等があったため	13
② 家族や親族に送迎を頼めたため	4
③ 友人・知人に送迎を頼めたため	1
④ 車等で外出する必要がなかったため(外出先が徒歩や自転車で行ける距離)	3
⑤ 路線バスのバス停や、JRの駅が自宅の近くになかったため	2
⑥ その他	0
計	23



2. 【地域公共交通】の情報についておたずねします。

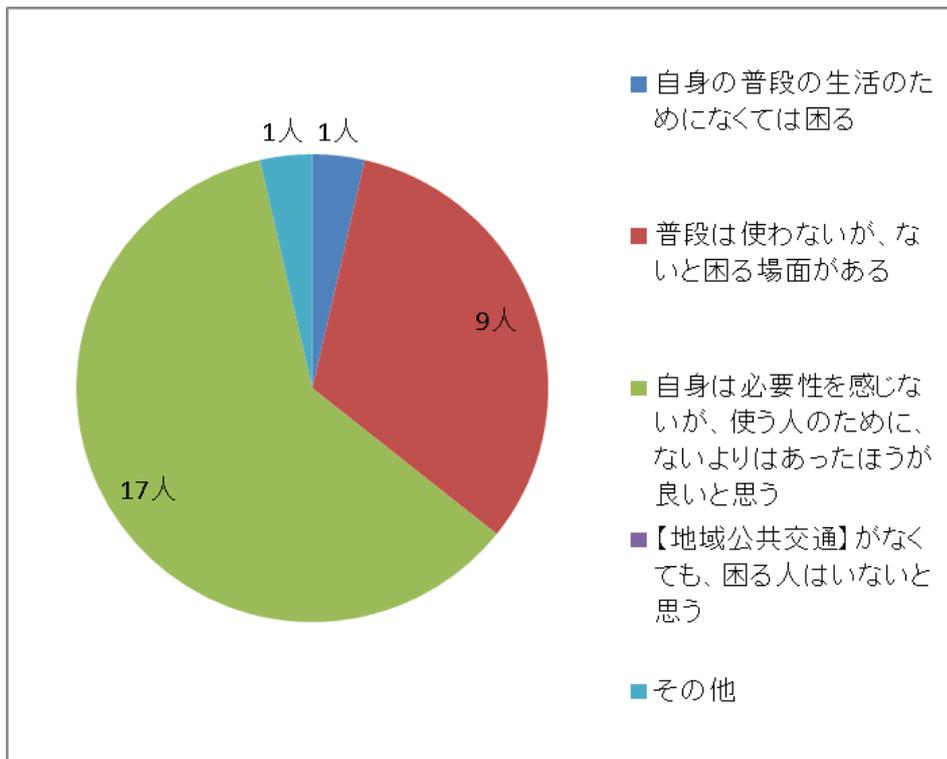
問5 【地域公共交通】の維持・確保がきびしい状況にあることを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
① 知っていた	13
② なんとなく知っていた	11
③ 知らなかった	4
計	28



問6 【地域公共交通】について、あなたはどのようにお考えですか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
① 自身の普段の生活のためになくでは困る	1
② 普段は使わないが、ないと困る場面がある	9
③ 自身は必要性を感じないが、使う人のために、ないよりはあったほうが良いと思う	17
④ 【地域公共交通】がなくても、困る人はいないと思う	0
⑤ その他	1
計	28



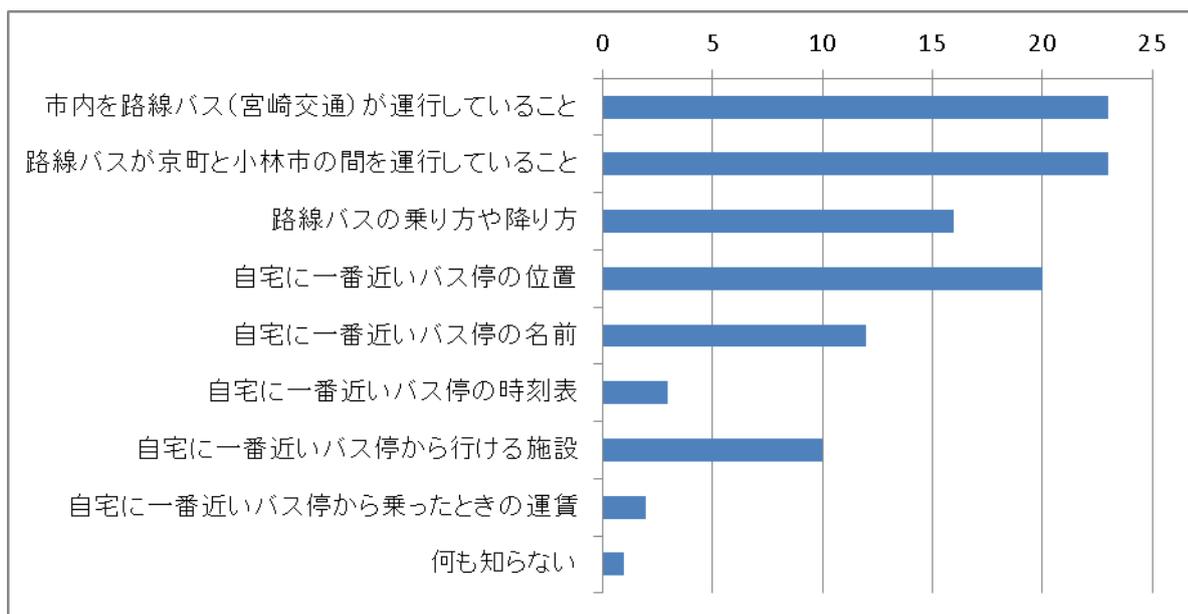
○ その他の内容

- ・飲酒時の利用
- ・会議等の帰り
- ・高齢者になった時交通手段がない
- ・現在は必要と思っていないが車に乗らなくなった場合公共交通があると助かると思う
- ・子供が高校生になったとき、使う可能性があると思うから
- ・今冬のような降雪時
- ・駐車場が無いところへ行く時
- ・自家用車が使えない時
- ・子供が利用するとき

問7 『路線バス』について、あなたが知っていることすべて選んでください。

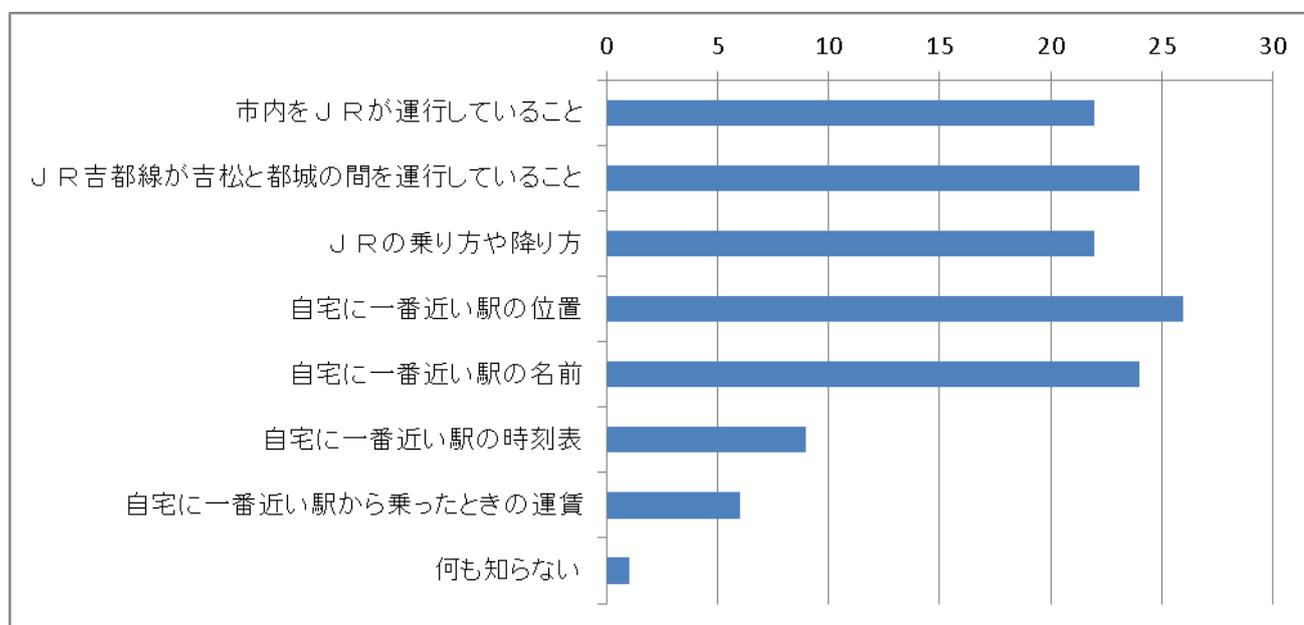
(複数回答有)

選択肢	回答数	割合
① 市内を路線バス（宮崎交通）が運行していること	23	79%
② 路線バスが京町と小林市の間を運行していること	23	79%
③ 路線バスの乗り方や降り方	16	55%
④ 自宅に一番近いバス停の位置	20	69%
⑤ 自宅に一番近いバス停の名前	12	41%
⑥ 自宅に一番近いバス停の時刻表	3	10%
⑦ 自宅に一番近いバス停から行ける施設	10	34%
⑧ 自宅に一番近いバス停から乗ったときの運賃	2	7%
⑨ 何も知らない	1	3%



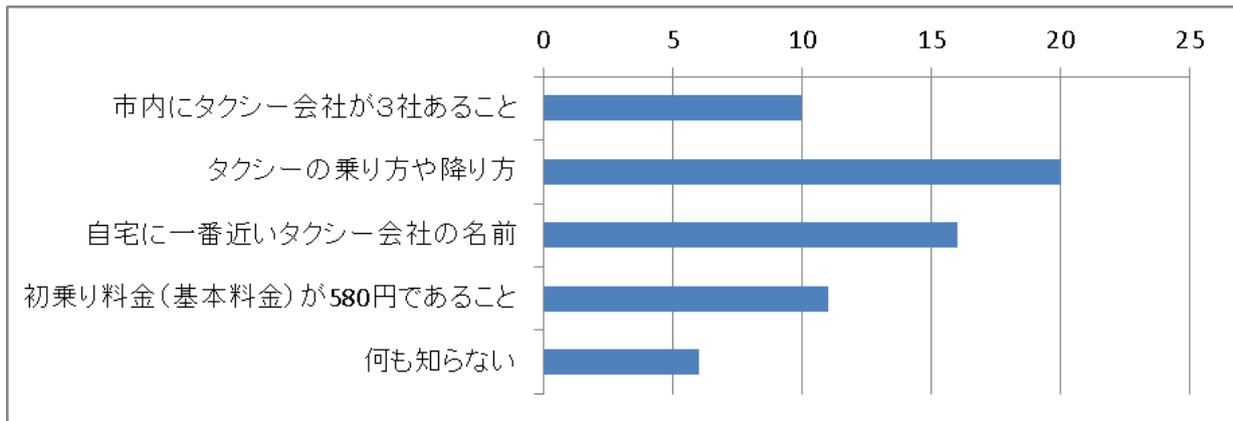
問8 『JR』について、あなたが知っていることすべてを選んでください。

選択肢	回答数	割合
① 市内をJRが運行していること	22	76%
② JR吉都線が吉松と都城の間を運行していること	24	83%
③ JRの乗り方や降り方	22	76%
④ 自宅に一番近い駅の位置	26	90%
⑤ 自宅に一番近い駅の名前	24	83%
⑥ 自宅に一番近い駅の時刻表	9	31%
⑦ 自宅に一番近い駅から乗ったときの運賃	6	21%
⑧ 何も知らない	1	3%



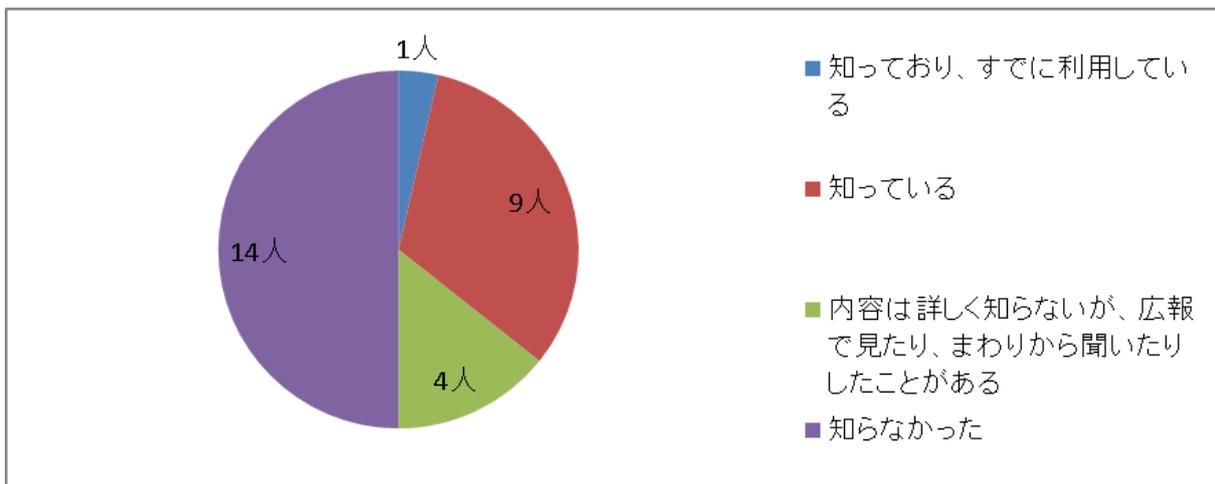
問9 『タクシー』について、あなたが知っていることすべてを選んでください。(※このアンケートで知ったことはのぞきます。)

選択肢	回答数	割合
① 市内にタクシー会社が3社あること	10	34%
② タクシーの乗り方や降り方	20	69%
③ 自宅に一番近いタクシー会社の名前	16	55%
④ 初乗り料金（基本料金）が580円であること	11	38%
⑤ 何も知らない	6	21%



問10 平成27年10月から実施している『えびの市タクシー利用料金助成事業』をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

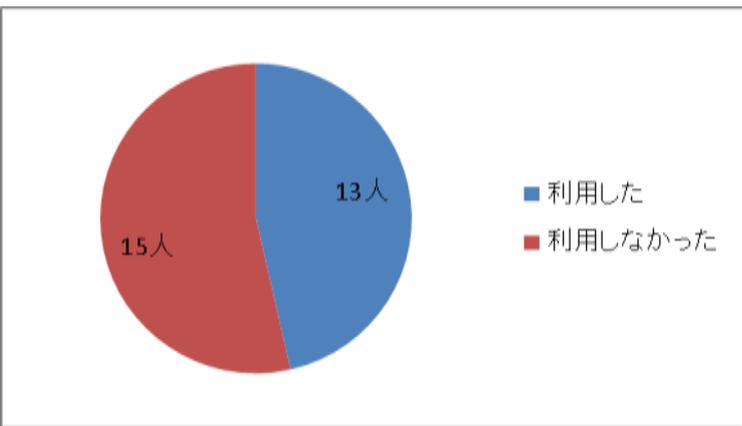
選択肢	回答数
① 知っており、すでに利用している	1
② 知っている	9
③ 内容は詳しく知らないが、広報で見たり、まわりから聞いたりしたことがある	4
④ 知らなかった	14
計	28



4. 「高速バス」についておたずねします。

問1 1 あなたは昨年（H27. 1. 1～H27. 12. 31）の1年間に『高速バス』を利用しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
① 利用した	13
② 利用しなかった	15
計	28



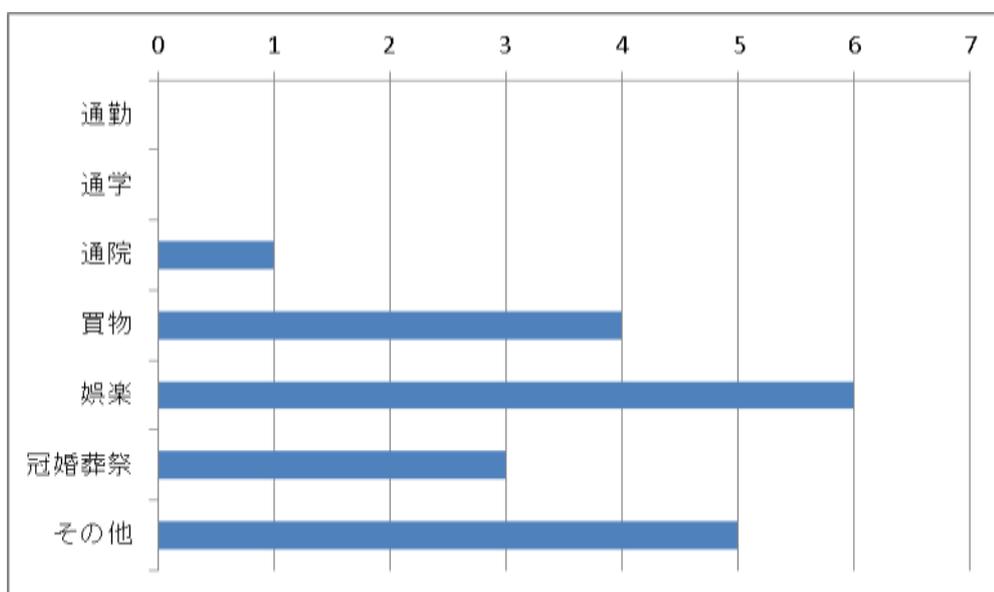
問1 2 昨年『高速バス』を利用した方にお聞きします。行き先・回数・主な目的について、ご記入ください。

【行き先】 (複数回答有)

選択肢	回答数
① 宮崎	1
② 福岡	10
③ 熊本	4
④ 鹿児島	8
⑤ 長崎	0
⑥ 佐賀	0
⑦ 大分	1
⑧ 九州外	1
計	25

【主な目的】 (複数回答有)

選択肢	回答数
① 通勤	0
② 通学	0
③ 通院	1
④ 買物	4
⑤ 娯楽	6
⑥ 冠婚葬祭	3
⑦ その他	5
計	19



5. 最後にお伺いします。

問13 【地域公共交通】や『高速バス』などの公共交通機関や、地域公共交通全般について、感じていること、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

・高速バスは便利で安心です。自動車運転はしますが、長距離は疲れたり、事故を考えるとこわいので高速バスを利用します。

・吉都線の踏切で通過する列車を見るたび乗客の少なさにがっかりするものです。高校生の数も以前と比較すると大分少なくなった感じがします。公共交通機関の維持は人口と比例することから今後ますます大変な状況にあると考えます。

地域の高齢化に伴って、バス、タクシー、列車はなくてはならない交通手段として永続して欲しいものです。小生も現在は車の運転は可能ですが、あと20年もしたら返上することになると思うのでその時どうなっているのか考えたらぞっとする感じです。国、県、市共に将来像をもっと現実的に考えるべきです。

・今から日々高齢化率が上がる中で1人暮らしも増加する中で運転免許の返納者も増えていくであろうと考えられる中で、路線バスが通る場所はいいけど、山間地帯等バスが通らないところの方に対する対策は他にもないものでしょうか。たとえタクシー券をもらったにしても枚数には限りがあります。年金暮らしの老世帯になれば交通量もおしみていく方もいるはずですが、市の財政も大変だと思いますが、それらを少しでも他の考え方の発想を持ち人と人が助け合い、支え合う地域づくり、そして手助け、ボランティアの人材育成をして行けないものでしょうか。

県内でも地域で支え合う力が原動力となり交通手段の役目をしている所があるようです。マンネリ化でなく、先進地のやり方もとりいれて改善して行く事が大事。その事が自分たちも高齢者になった時、役立つ日がきつくと信じたいです。山間部の方は買物にも行けず、困っている方はいるはず。それらも調査してどのようにすれば今後えびの市が高齢化率が上がっても安心して暮らせる定住地として市外の方にもPRして行けばいいのではと思います。

・大きな道路（国道、県道）まで出て来るのにひとり暮らしの老人は、大変だと思います。道路からひっこんだ所をもっと使いやすいように出来ないものかと思っています。

・年をとると何をどこに聞いていいのかわからない方がいらっしゃるのではないかと思います。どのようにしたらいいと具体的に考えはないですけど？本当に高齢者になると、お隣さんを頼らないといけないと思いますので、地域のつながりが大切だと最近おもいます。

・普段は利用することがないのですが、車がなかったりする時、一番に利用しようと思うのが路線バスなので、ないと困ると思います。

・高速バスなどは、最近テレビで流れている事故を見てから怖くなったので、利用しにくいな一と思いました。また、高速バスはどこで乗れるのかをよく知らないため、宮崎市内に行きたい時も親に連れていってもらうことがほとんどです。えびの市内を走っているバスも、乗りたい時間にバスがこないの、乗ることができない時が多いです。

・足の悪い方はバス停までも行けない。

・高速バス停までバスが行くと良い（荷物が多いとき）

・高速バスの回数が少しずつ減っているの、不便な時間帯がある。

・昨年、母親が市立病院を利用した際、市立病院経由になっていることを知らずわざわざ飯野市街のバス停まで歩き、バスに乗って市立病院まで戻ったということがありました。病院や道の駅等、バスで利用できる施設の周知をはかられた方が良いと思います。また往復料金が安くなっていることなど周知してほしいです。

・近年規制緩和の影響で観光バス等の事故が多くなっており、高速バス等を利用することに不安を感じている。安全性の確保に全力を尽くしてもらいたいです。

・昨年は使用したことはないが、病気治療入院の時や自家用車が使えなくなった時又は緊急時には使うことが出てくると思うのでその必要性はある。あった方がよい。

・まだ使ったことはないけど、将来いつか必要になると思う。

・社会問題化している高齢者の運転免許証返却問題は過疎地ほど認識が薄く、当えびの市内では80—90歳代でも運転するご老人が少なくないが、誰でも市と福祉協の双方のタクシー利用券を同時に使用できれば、高齢者の利便性が向上し、運転免許証の返上も進展するはずです。我が家は70歳代半ばの老夫婦二人の暮らしで、免許証は老妻が所有するため利用出来るのは助成額が少ない市の制度だけ。しかし、「同一所帯に車が無い」等の条件をなくし、高齢者所帯ならどこでも福祉利用券と併用出来るようにすると、近場なら助成率が90%以上、また2—3キロ程度の近距離でも70-80%位になり、利便性は大きくなるので、免許証も返上するつもりです。この制度は昨秋スタートしたばかりと言う事なので、2年目以降の内容の拡充を期待します。もとより、制度の永続性は絶対的な前提です。

・地域のコミュニティバスの運行は厳しいでしょうか。高齢者の運転がなかなかおそろしい世の中になってきている気がしますが、車がないと病院や買い物に行けないという話をよく耳にします。

病院やスーパー等へ重荷できれば小型バスで奥まった地域への入れる様に・・・と思うことがあります。

・地域公共交通の手段として、タクシー利用券を発行された事は非常に良かったと思います。これでえびの市市民全体均等に対処されたと思っております。

これからも市民全体を考えた政策がなされる事を期待しております。